



日本共産党

北地区政策委員長

のの山けん 区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.14 2007.2.7

発行 のの山けん 発行
〒115-0042 志茂 4-6-15

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に

残業代ゼロ・過労死促進法案

ホワイトカラー・エグゼンプション

今国会への提出を見送り

政府・与党は、6日の協議会で、残業代も払わずサラリーマンを何時間でも働かせることができる「ホワイトカラー・エグゼンプション」(WE)について、今国会への提出を見送る方針を決めました。

WEは、「過労死促進法」「残業代ゼロ制度」とも呼ばれ、導入に反対する世論と運動が急速に広がっていましたが、こうした国民の動向から、ついに断念へと追い込まれた形です。

政府は「説明不足だった。理解を求めていく」(柳沢厚労相)などといっていますが、世論調査やインターネットの投稿などでも圧倒的多数の国民が反対しており、WE導入は民意にまっこうから背くものです。

今国会への導入をあきらめたとはいえ、政府は参院選後にも国会提出をねらっています。日本共産党は、この法案を2度と持ち出せなくなるまで、国民のみなさんとともに、たたかいをすすめてゆく決意です。



●女性「産む」機械 ●結婚子ども2人以上が「健全」

暴言に反省なし 柳沢厚労大臣は 辞めるしかない!

「女性は産む機械」などという柳沢厚生労働相の発言は、女性の人格と尊厳を根本から否定するものであり、断じて許すことができません。

同相は、6日の記者会見で「若い人たちは結婚をしたい、子どもも2人以上持ちたいという極めて健全な状況にいる。そういう日本の若者の健全な希望にフィットした政策を出していくことが非常に大事だと思う」とのべましたが、これについて日本共産党の穀田国対委員長は「子どもが一人だったり、いなかったりするのとは不健全だといいたいのか」と批判、「女性を『産む機械』とのべたことが、柳沢厚労相の本音だったことを裏付ける発言であり、厚労相の任と両立しえない」と指摘しました。繰り返す暴言に反省のない柳沢厚労相は、もう辞めるしかありません。

新春のつどい ひらく

2月3日、北区赤羽会館で、日本共産党志茂・赤羽後援会主催の「新春のつどい」が開かれ、90人が参加しました。

第1部の後援会総会では、吉田万三都知事候補の紹介ビデオ上映に続き、そねはじめ都議と、4月で引退するやぐち健区議があいさつ、佐藤月男党北地区委員長が選挙をめぐる情勢について報告をおこないました。

後援会の活動方針と新役員が承認された後、私、のの山けんから、「北区は区民に増税をおしつけ、介護サービスを切りすてながら、300億円もの税金をためこんでいます。区民の税金は区民のくらし充実のために使うべきではないでしょうか。自民、民主、公明は増税条例や介護保険予算にもすべて賛成してきました。日本共産党がのびてこそ、血の通ったあたたかい区政へと転換できます」と決意表明



後援会主催「新春のつどい」で訴えるのの山氏

させていただきました。

第2部は、お茶とケーキを楽しみながらのミニコンサート。歌手の佐藤真子さんが「千の風になつて」「一本のえんぴつ」などを熱唱し、最後は参加者が総立ちとなったの合唱となりました。

最後に、黛四郎後援会相談役が「きびしい情勢をたたかいぬき、二大選挙での日本共産党の躍進を必ずかちとりましょう」と訴えました。



吉田万三 元足立区長が街頭で訴えます

2月18日(日)
午後5時
赤羽駅東口



●心愛
そねはじめ
区議会議員

日本共産党演説会

2月27日(火)午後7時
北とぴあ・さくらホール

た / 竹ノ久交り議員、ハタケノ参加議員、ののけん×次長委員ほか